

議員ふじさん歩

〈取材担当:佐野野昭〉

「鎌倉殿の13人」ゆかりの地

『富士川の合戦 源氏・平氏の陣は』



▲御崎神社



▲寒竹浅間神社

富士川の合戦は、治承4年(1180年)、源氏の軍勢が動く、近くの沼で眠っていた水鳥が一斉に飛び立ち、その羽音に驚いた平氏軍は源氏の夜襲と思い込み、戦わずして逃げ去った話として有名です。この頃の富士川がどこを流れていたかはっきりしませんが、両陣は富士川を挟み、東西に対峙したと言われています。

今泉にある平家越は、平氏軍が逃げ帰った場所とされており、かつては平家越という地名もありました。

一方、源氏が本陣を置いた場所とされるのが富士岡にある寒竹浅間神社で、境内の竹をかがり火の燃料としていたようです。また、比奈の御崎神社にも陣を置いたとされ、根方街道周辺には源頼朝とゆかりのある史跡が点在しています。

富士川の合戦の地を巡ることにより、武士の伝説だけでなく、当時の地形や富士川の流れ、そして現在に至る変遷にも興味を引かれます。



▲平家越の石碑

議会にひと言

今回は、今年成人式を迎えた大学生で、市内で野球審判員としても活躍されている松浦伊吹さんにお聞きしました。



(インタビュー:長谷川祐司)

富士市の野球人口は静岡県内で上位を争います。しかし、現在の富士球場は照明設備やグラウンドの広さ等問題点が非常に多いため、早急に改修し日本一の富士山にふさわしい球場となることを望んでいます。改修が実現できれば、各層の全国大会、プロ野球の試合やキャンプを誘致し、多くの観客等による経済効果も期待できます。

富士市には富士山という貴重な財産があるため、自然豊かな環境を生かし、スポーツが文化の核となるようなまちづくりを進め、スポーツの力で富士市を活性化させてほしいと思います。そして、第二の大谷翔平選手が富士市から誕生するような環境づくりを切に願います。

議会 HISTORY Vol.17 ヒストリー

市民が市政の主人公、まちづくり会議スタート (昭和59年)



▲原田地区でのまちづくり会議

昭和59年、第三次富士市総合計画「ふじ21世紀プラン」の策定に当たり、「地域のことは地域住民が一番よく知っている」との考え方の下に、地区単位で「まちづくり会議」を開き、地区別計画が策定されました。その後、同会議は役割を終えて解散しましたが、市民相互の話合いの場の必要性が認識され、昭和62年度には、住民が主体となって「まちづくり推進会議(会)」が各地区に組織され活動を開始しました。行政もこれに応え、行政懇談会を開催するとともに、さらに地域の力を課題解決に生かすべく、「地域の力こぶ増進計画」を策定し、平成28年にはまちづくり協議会を条例で位置づけました。

そして、今年6月には「富士市まちづくり協議会連合会」も組織され、その動きが注目されています。(担当:井上保)

編集後記

6月定例会をもって各委員会の改選があり、引き続き議会広報委員となりました。特集で紹介したウェブサイト情報だけでなく、議会だよりについても内容を工夫し、今後も市民の皆様に関心を持っていただけるよう委員一同努めてまいります。(井出晴美)



次回定例会予告

9月定例会は、9月9日から10月12日まで開催され、一般・特別会計、企業会計の決算審査等が行われる予定です。

発行
富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索